

***BOM for Windows Ver.5.0 SR2* リリースノート**

Copyright © 2007-2009 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.

このドキュメントには、BOM Ver.5.0 SR2 に関する最新情報が記載されています。

■ ■ 対応 OS の追加 ■ ■

対応 SP と OS が増えました。

■ ■ 機能追加・改良 ■ ■

- 1.Windows Server 2008 認定ロゴ取得
- 2.監視項目の仕様変更
- 3.x64 Edition 対応
- 4.コントロールパネル
- 5.インストーラ
- 6.BOM アーカイブサービス
- 7.Windows Server 2008 認定ロゴ対応
- 8.テンプレートの追加

■ ■ 不具合修正 ■ ■

- 1.全般
- 2.BOM5.0 マネージャ
- 3.監視項目関連
- 4.集中監視コンソール関連
- 5.アーカイブ関連

■ ■ 注意・制限事項 ■ ■

1.BOM5.0 マネージャ

■ 更新履歴 ■ ■

- 2008年03月18日 BOM for Windows Ver. 5.0 アップデートパッチ公開
- 2008年07月01日 BOM for Windows Ver. 5.0 イベントログ監視 修正モジュール公開
- 2008年08月09日 BOM for Windows Ver. 5.0SR1 リリース
- 2009年01月22日 BOM for Windows Ver. 5.0SR2 リリース

■■ 対応 OS の追加 ■■

対応 OS を追加しました。

- Windows Vista
- Windows Server 2008
- Windows Server 2003 x64 Editions
- Windows XP Professional x64 Edition

※対応の詳細は、メディアに含まれる ReadMe をご参照ください。また、最新の対応情報は弊社 Web に公開されます。

■■ 機能追加・改良 ■■

1.Windows Server 2008 認定ロゴ取得

- Windows Server 2008 認定ロゴプログラムにより、Certified of Windows Server 2008 を取得しました。
 - ◇ Windows Server 2008 ログ認証対象機能
 - ヘルパーサービス、監視サービス
 - BOM for Windows 5.0 マネージャ
 - BOM5.0 集中監視コンソール
 - コントロールパネル
 - ◇ Windows Server 2008 ログ認証対象外機能
 - アーカイブサービス
 - BOM5.0 アーカイブマネージャ
 - 設定ユーティリティ
 - BOM アーカイブ DB for SQL 2005/2008
 - BOM アーカイブ DB for SQL 2000
 - BOM 監視オプション for Oracle
 - BOM 監視オプション for Citrix Presentation Server

2.監視項目の仕様変更

- プロセス監視の「集計に利用する関数」で、指定プロセスの数をカウントする関数[Count]を指定した際の設定画面の動作を以下の通り変更しました
 - ◇ インスタンスが存在しない場合も失敗としない”をチェック、かつ、選択不可能とし、グレーアウト。
 - ◇ カウンタ欄は選択不可能とし、グレーアウト。
 - ◇ 表示スケールは 1/1、かつ、選択不可能とし、グレーアウト。
 - ◇ 表示単位は空白、かつ、選択不可能とし、グレーアウト。
 - ◇ 閾値は単位無し。
- 以下の監視項目をマルチスレッドで動作するように仕様変更しました。
 - ◇ イベントログ監視
 - ◇ パフォーマンスカウンタ監視
 - ◇ プロセッサ監視
 - ◇ メモリ監視
 - ◇ ディスクアクセス監視
 - ◇ ネットワークインターフェース監視
 - ◇ プロセス監視
 - ◇ テキストログ監視
 - ◇ Ping 監視
 - ◇ ポート監視

3.x64 Edition 対応

- x64 Edition OS 環境下でのフォルダ・ファイル監視、並びに、テキストログ監視で、フォルダリダイレクトをキャンセルし、system32 配下のファイルを正しく監視できるよう対応しました。
- x64 Edition OS 環境下での SMTP メール送信アクションで、実行時のフォルダリダイレクトをキャンセルしているため、system32 配下に保存されているファイルの添付、又は、本文への埋め込みが可能です。

4.コントロールパネル

- 新たに、監視設定を BOM がインストール済みの複数サーバに一括配布できる、「設定一括配布ツール」を追加し、コントロールパネルからアクセスできるようになりました。
- SR1 では Windows Server 2003 でのみ対応可能であった「設定収集・配布ツール」が Windows 2000 及び Windows XP でも対応可能となり、また、Windows Server 2008 及び、Windows Vista へも対応しました。
- バックアップ機能実行時に、イベントログ監視初期設定ファイル(Bom5EventlogMon.ini)もバックアップするように変更しました。

5.インストーラ

- バージョンアップインストール実行時にクリアされていた、イベントログ監視初期設定ファイル (Bom5EventlogMon.ini)を、SR2 へのバージョンアップインストールで保持されるように変更しました。
- アンインストール時のウィザードに「関連フォルダーの削除」チェックボックスを実装しました。

6.BOM アーカイブサービス

- Microsoft SQL Server 2008 に対応し、監視データのアーカイブ先に Microsoft SQL Server 2008 が使用できるようになりました。

7.Windows Server 2008 ロゴ対応

- Windows Server 2008 が通常モード以外で起動した場合、BOM5.0 の各モジュールが Windows Server 2008 認定ロゴ要件に準拠した方法で適正に終了するようになりました。
- メッセージボックスを使用してエラーメッセージを出力している箇所を、すべてヒストリログに書き出すよう変更しました。
- Windows Server 2008/Vista で運用する場合に、OS がサポートしていない「ポップアップメッセージ」を利用したアクションを、設定できない様に変更しました。

8.テンプレートの追加

- SQL Server 2005・SQL Server 2008・Exchange Server 2007・Windows Server2008 セキュリティーログのテンプレートを、新たに追加しました。

■■■ 不具合修正 ■■■

1.全般

- 設定収集配布ツールをクライアント系 OS (XP Vista 等) で使用し、設定の収集を実行した場合、OS 側の同時接続数の制限により、スタートアドレスから一定数の監視対象サーバまでの設定しか収集できません。設定収集配布ツールでは、処理実行時のスレッド数を制限することにより、この現象を可能な限り回避するように修正しました。

2.BOM5.0 マネージャ

- インスタンスプロパティのアーカイブ設定タブにおいて、アーカイブサービスの起動状態を誤認識することがありましたが、リトライ処理を加えることにより、誤認識が発生しないよう修正しました。
- 監視設定一覧の出力において、グループ、監視、アクション、通知各項目の「名前」と監視項目の「単位」に、手入力で特殊文字が入力されている場合、出力後の一覧表示時にエラーが発生することがありましたが、出力処理中に特殊文字を自動変換することにより回避しました。
- Windows Storage Server OS を監視対象とした場合、ヒストリ配下のログが日本語版パッチの種類によってはカテゴリ表記が英文となっており、正しくカテゴリ化されないことがありましたが、正しくカテゴリ化されるように修正しました。
- SR1 では、下位バージョン (SR なし) へリモート接続し、SR1 で追加された「ログのクリア」を実行すると、Unknown Error が発生しましたが、SR2 では接続先のバージョンチェックを厳密に行い、接続先が SR なしの場合、ログのクリア機能を無効としました。

3.監視項目関連

- プロセス監視の特定のカウンタにおいて、監視結果がN/Aになるにも拘わらず、現在値の取得結果が0になる場合がありますが、ロジックを修正し監視結果が正しくステータスに反映されるようになりました。

4.集中監視コンソール関連

- マニュアルに記載のある、「新規ステータスを点滅」が機能していませんでしたが、点滅するように修正しました。
- メール送信アクションが複数同時実行された際に、メール本文に設定されている変数<\$InstanceID>が誤った変換をする不具合を修正しました。

5.アーカイブ関連

- アーカイブマネージャの表示で、0時0分0秒に出力されたログの時間部分[0:00:00]が表示されない不具合を修正しました。
- 何らかの原因でアーカイブに失敗した場合、アーカイブサービスのハンドルリークが発生する不具合を修正しました。
- 監視ステータスログをログビューアで表示した場合の実行時間と、アーカイブサーバに蓄積後アーカイブマネージャで表示した実行時間が一致していない不具合を修正しました。
- BOMの監視により取得した値が、32bitの範囲を超えている場合、正しい値がBOMアーカイブサーバに送信できない不具合を修正し、32bit以上の数値が正しく蓄積できるようになりました。

■■ 注意・制限事項 ■■

1.BOM5.0 マネージャ

- JIS2004の文字列を使用した監視内容(監視対象名、監視項目名、インストールパス、検索する文字列等)については対応していません。